

# Takara standard

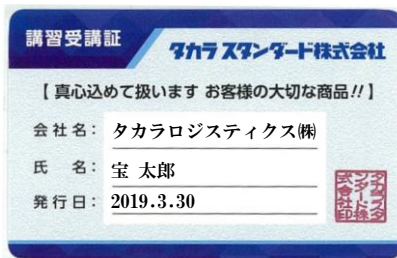
「きれい」と暮らそう、高品位ホーロー。

タカラスタンダードの新しい取り組みや注力事業などをお届けするニュースレター

## 顧客満足度の向上に繋がるタカラスタンダードの物流政策 -管理システム刷新でトラックの待機時間を1時間削減-

システムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器メーカー・タカラスタンダード株式会社（本社所在地：大阪市城東区、代表取締役社長：渡辺岳夫）は、顧客満足度の向上に注力しています。中でも、ドライバー不足等で厳しい物流環境において、安定的な商品供給を維持し、お客さまのご希望通りの日程や品質で施工ができるよう、物流関連業務の見直しと改善に取り組んでおり、車両拘束時間を3年で1時間縮めるなどの成果を上げています。タカラスタンダードではCS（カスタマーサービス）物流を目指すべき姿に掲げ、お客さま・配送事業者・当社それぞれにとってメリットがある物流体制の構築を図っています。

### ①北海道から沖縄まで、荷扱い講習を実施。受講者数は延べ約800名。



(タカラスタンダード  
配送事業者認定証)

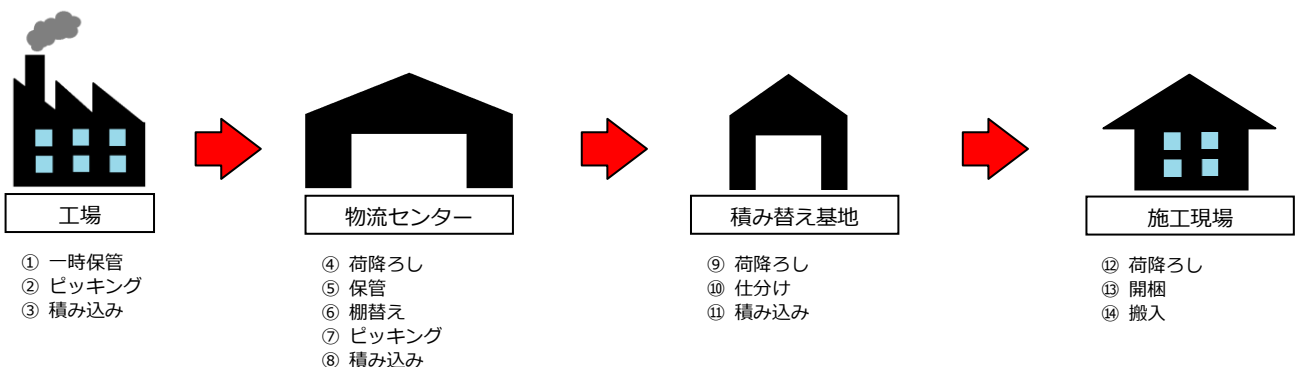
人口減少・高齢化が進む中、輸配送の分野ではトラックドライバー不足が深刻な問題となっています。職歴の浅いドライバーも増えている中、新人であっても正しい荷扱いや輸配送ができるよう、タカラスタンダードでは、2018年11月から、全国の運送会社向けに、DVDを用いた荷扱いに関する講習を実施。物流を統括するロジスティクス部の社員が全国に出向き、2019年3月現在で93回の講習を実施し、受講者数は776名に達しました。

この講習により、新人、ベテラン関係なく安定した物流品質を保つことができるようになるだけでなく、受講者に認定証を配布し着用してもらうことでドライバーの意識の向上が図れるとともに、施工現場でドライバーと接する一般のお客さまからの信頼度のアップを目指します。

各工場で作られた製品を物流センターで保管し、その後積み替え基地を経由して施工現場に届けられる場合、荷扱いの作業は全部で14回。お客さまのもとに質の高い商品をお届けするため、ドライバーによる荷扱いは重要なファクターのひとつです。

また、講習で実際に製品を取り扱っている運送業者の声を拾い、ダメージ品削減に向けた梱包の改善にも生かしています。今後は、物流品質の向上に繋がる商品開発も行っていきます。

### <参考：流通過程と荷扱い作業>



## ②高回転物流体制の構築

物流業界における配送用トラックの待機時間は、荷主の入出庫作業によって左右されるためドライバー側でコントロールできず、業界全体で問題視されてきました。しかし、この待ち時間を短縮することで、トラックドライバーの長時間労働の解消が実現し、安定的なドライバーの確保に繋げることができます。さらに、それによって運送事業者に選ばれる荷主になるだけでなく、お客さまのご希望に沿う配送体制が実現します。

タカラスタンダードでは、18カ所ある工場で生産された商品や仕入れ品などを全国5カ所の物流センターに集めています。最終的には施工現場で組付けるため、例えばシステムキッチンを出荷する際は、ワークトップ、キャビネット、吊戸棚、レンジフード、加熱機器、水栓金具といった商品を物流センターに集め、施工現場ごとにピックアップした上で配送車両に積み込み配送しています。そのため、待機時間が長くなることが多く、2015年度の平均待機時間は4時間弱でした。そこで、待機時間短縮に向けた取組みを開始しました。

例えば、それまでは入庫時に紙の納品書で行っていた照合作業を、ASN（事前出荷通知：Advanced Shipping Notice）データを利用し、ハンディターミナルを使った作業に変えることで、入庫作業の時間を短縮しました。

また、これまではトラックが到着してから行っていたピッキング作業を、倉庫管理システムの刷新によって、到着時間に合わせて作業を完了させておくことができるようになり、出荷作業の削減にも成功しています。

結果、2018年度の車両の平均待機時間は2時間40分と、3年で1時間短縮しました。



(入庫時の検品に使用しているASNシステム)

その他にも、パレットやスキットを活用した輸送やモーダルシフトの推進など、積極的な物流の改革に取り組んでいます。

今後も、ドライバー不足等で物流環境は厳しい状況が続くと思われませんが、運送事業者のコンプライアンス遵守によって選ばれる荷主になること、物流の高回転化を推進し、効率的な輸配送を実現することで、安定的な商品供給に努め、高い顧客満足度の維持に努めます。

### <参考>

#### ②工場数 … 18カ所

鹿島工場／千葉工場／埼玉工場／新潟工場／トナミ工場／岐阜工場／岐阜第二工場／北陸工場／三島工場／名古屋工場／滋賀工場／びわこ工場／大阪工場／和歌山工場／福岡工場／鞍手工場／日本フリット（関係会社）／タカラ化工（関係会社）

#### ③物流センター数 … 5カ所

東北物流センター／鹿島物流センター／関東物流センター／滋賀物流センター／福岡物流センター

#### ④倉庫数 … 9カ所

北海道倉庫／新潟倉庫／埼玉倉庫／厚木倉庫／関倉庫／小牧倉庫／四国倉庫／山口倉庫／小倉倉庫

### <タカラスタンダードとは>

1912年創業。『ずっと「愛せる」というしあわせ。』をブランドコンセプトに、独自の「高品位ホーロー」技術を活かしたシステムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器を製造販売。より高度化、多様化、複合化するお客さまのニーズにお応えするホーロー技術のリーディングカンパニーとして、また住宅設備機器のトップメーカーとして、次世代を担う新たなホーローの可能性を追求し、快適な暮らしの創造を目指しています。  
[設立：1912年5月30日（創業106年） / 売上高（連結）1,932億円（2018年度） / 従業員数（連結）6,186名]